

チョッキン草刈隊

6月22日(水)、酒田市宮海宇新林国有林1128林班内のクロマツ造林地で第5回「みどりの保育園」チョッキン草刈作業(下刈作業)を実施しました。

当日は園児達の心がけが良かったせいか、晴天の汗ばむ天気にも恵まれました。今回のチョッキン草刈隊の参加者は、年長組園児とその保護者それぞれ24名、保育園の先生がた4名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター5名、庄内森林管理署1名、酒田市農林水産課1名の総勢59名です。

チョッキン草刈隊の出発式では、草刈隊の総隊長に園長先生が、隊長に保育園の先生が、隊長補佐に園児の保護者や関係行政機関が、隊員に園児の皆さんが任命された後、隊員たちは草刈隊のルールについて学びました。この後、隊員たちの「エイエイオー」の掛け声のもと、隊長補佐(保護者)と手を繋ぎながら、クロマツ林の中を20分程散策し、本日の作業箇所に着きました。

作業箇所では開会式が行われ、当センター所長からの挨拶、続いて、隊員たちは、クロマツ林を育てるためになぜ下刈作業が必要なのかについて、紙芝居で学びました。そして、庄内森林管理署庄司流域管理調整官から鎌の取扱いについて、隊長(保育園先生)からハサミの安全な使い方についての指導を受けました。

チョッキン草刈作業は、まず、隊長補佐(隊員の保護者)がクロマツの周囲の草等を鎌で刈払い、その後、隊員がクロマツの根元に残っている草をハサミでチョッキンします。

隊長補佐の作業が始まると、隊員たちから「ガンバレ、ガンバレ」の声援が飛び交い、その作業にも力が入っているようでした。次に、隊員がハサミを手に作業が開始されると、危なっかしい動作に隊長補佐の皆さんは、心配そうに応援していました。草刈作業の仕上げでは、隊長補佐と隊員(親と子)との協働作業ともなり、普段なかなか出来ない屋外での親子等のコミュニケーションも交わされた賑やかな作業になりました。隊員と隊長補佐の頑張りにより、クロマツ造林地は下草が綺麗に刈られ作業が終了しました。ある隊長補佐(お母さん)は、「この子のお兄ちゃんが植えたクロマツがこのように大きく成長したのを見てとても嬉しくなった。その弟がクロマツをさらに大きくするために草をチョッキンするというめぐり合わせも、クロマツのお陰かもしれない。」と話してくれました。

隊員たちには頑張った証として、当センター所長からオオカメノキをモチーフとした記念のメダルを一人一人の隊員の首にかけてあげました。

総隊長(園長先生)からは、「隊員の皆さん、隊長補佐の皆さんの頑張りでクロマツ造林地の下草が刈られ、このように綺麗になりました。クロマツさんも綺麗なところだと大きく成長することが出来ると思います。クロマツさんから皆さんに「ありがとう」とお礼の言葉がささやかれているようです。隊員の皆さんは、クロマツさん同様、お家や保育園なども散らかさず綺麗にするように頑張りましょう。」との挨拶があり、クロマツ造林地での作業を終えた達成感に浸りつつ記念撮影を行い、チョッキン草刈作業を終了しました。

